
「子宮頸部腺癌の HER2 発現と腫瘍免疫微小環境の関連解明にむけた検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年04月01日から2025年05月01日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、子宮頸部腺癌と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

本研究では、過去に診察を受けられた子宮頸癌患者さんの病理検体を用いて、乳癌や胃癌での治療選択評価に重要な HER2 発現と腫瘍の中での免疫環境の評価を行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030年03月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

病理検査に用いた残余保存検体、検査データ、診療記録、カルテ番号、イニシャル、病理検体番号、以前研究使用に同意をいただいた方の保存されている血液検体・腫瘍検体

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である小笠原 仁子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

子宮頸部腺癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 小笠原仁子（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

当院単独の研究かつ検査・解析等もすべて自機関で行う（国内の外注検査等を除く）場合

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

5. 試料・情報の提供方法等について

<情報>

腫瘍検体の次世代シーケンス解析を行った方（全員ではありません）の試料・情報の内容に記載している情報を、個人が特定できないように加工した上で、インターネットを經由して国立遺伝学研究所が管理する DDBJ データベースに登録する可能性があります。DDBJ データベースの詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.ddbj.nig.ac.jp/index.html>

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 小笠原仁子

住所：〒350-2980 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：子宮頸部腺癌の HER2 発現と腫瘍免疫微小環境の関連解明にむけた検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 小笠原仁子